

株式会社ブロードバンドセキュリティ
2020年6月期 第2四半期決算説明資料



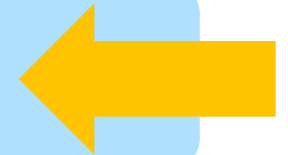
2020年2月13日

2020年6月期 第2四半期 業績サマリー

トピックスのご紹介

株式会社ブロードバンドセキュリティについて

2020年6月期 第2四半期 業績サマリー



トピックスのご紹介

株式会社ブロードバンドセキュリティについて

前年同期比16.6%の増収により 労務費・人件費の増加を吸収し、増益・黒字転換

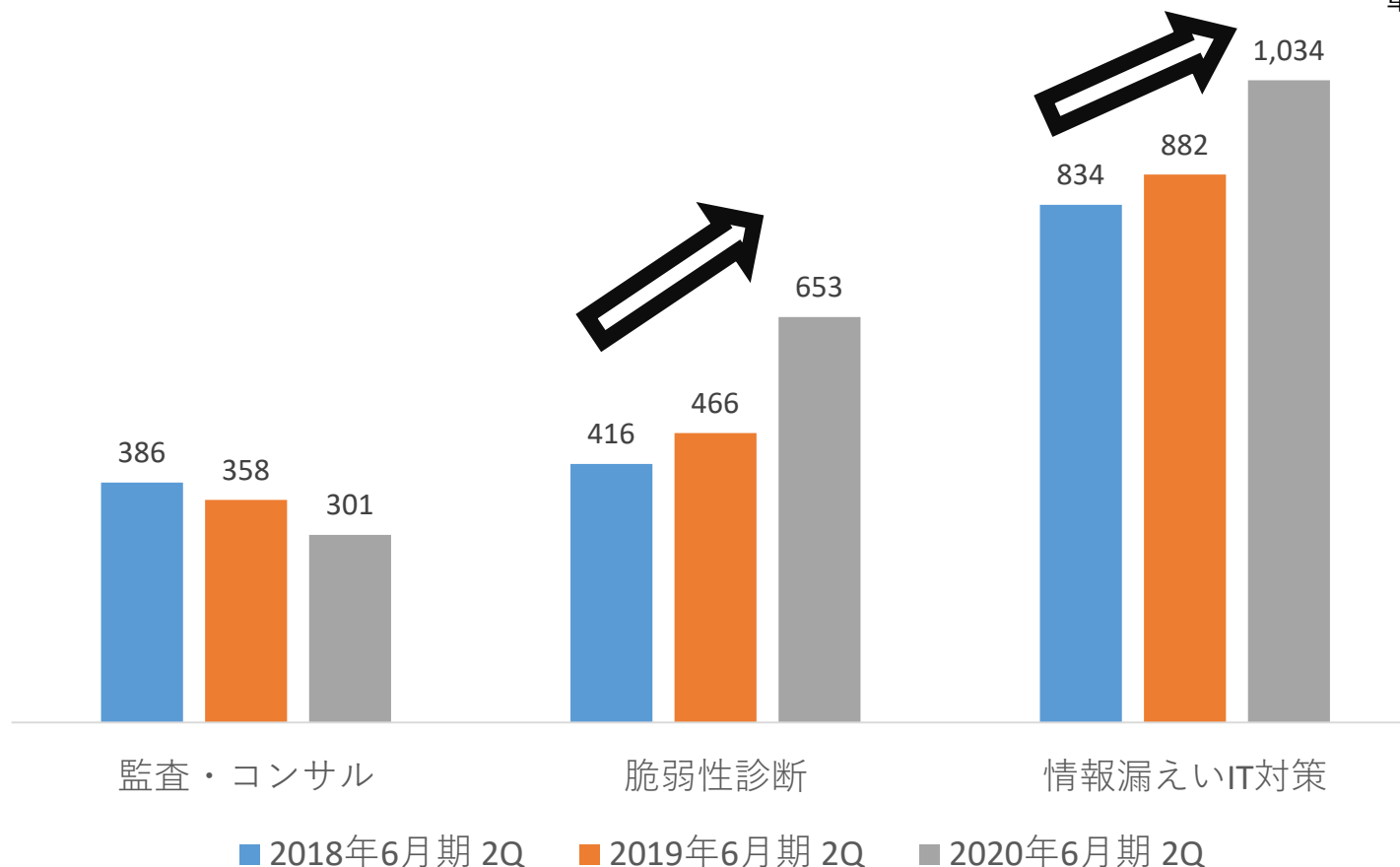
単位：百万円

科目	2019年6月期 2Q累計実績	2020年6月期 2Q累計実績	前年同期比		2020年6月期 通期計画
			増減	増減率	
売上高	1,707	1,990	+282	+16.6%	4,358
セキュリティ監査・コンサル	358	301	△ 56	△15.7%	759
脆弱性診断	466	653	+187	+40.1%	1,400
情報漏えいIT対策	882	1,034	+151	+17.2%	2,198
売上原価	1,385	1,482	+96	+7.0%	3,163
販売費及び一般管理費	368	435	+66	+18.1%	894
営業利益	△ 46	72	+119	-	300
売上高営業利益率	-	3.7%	-	-	6.9%
経常利益	△ 82	58	+140	-	278
売上高経常利益率	-	2.9%	-	-	6.4%
当期純利益	△ 62	47	+109	-	182

サービス区分別売上高推移

脆弱性診断および継続系サービスが売上高を牽引 コンサルは受注好調、下半期に増加の見込み

単位：百万円



※2018年6月期 2Qは監査法人の四半期レビューの対象外です。

科目別 前期比増減ポイント

主に脆弱性診断の一括受注案件の増加により、単発案件に比べてスケジュール調整の柔軟性が増す。ピークキャパシティの増大ともあいまって、増収増益を実現。

() 内数値は前年同期比
単位：百万円

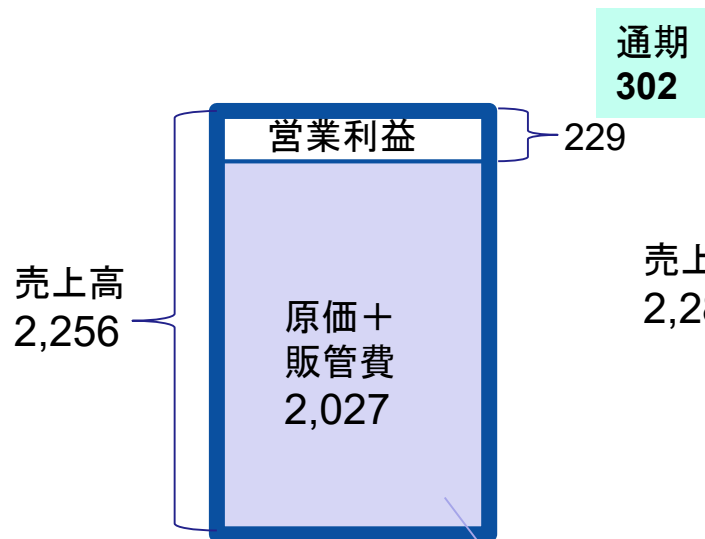
売上高	セキュリティ監査・コンサルティング	前年度の反動でクレジットカード業界向け(△64)一般向け(+7)、更に下半期に貢献予定
	脆弱性診断	SI事業者等からの一括受注案件が増大。加えて繁忙期のコントロールとキャパシティ拡大により外注費も削減。
	情報漏えいIT対策	継続系サービスが牽引し増(セグメント内の継続売上高比率74.9%)
営業利益	労務費増(+83)等による原価増(+92)、人件費増(+40)採用求人費増(+5)等による販管費増(+67)があったものの、上記増収でカバーし、営業利益増(+119)	
経常利益	前期のIPO関連の一時費用が減少し、営業外費用減(△21)、結果経常利益増(+140)	
当期純利益	法人税等調整額の税効果会計の影響を加えても、当期純利益は大幅増(+109)	

通期利益計画達成のポイント

下半期のトップラインが、前年同期比+15%以上で 営業利益計画を達成できる見込み

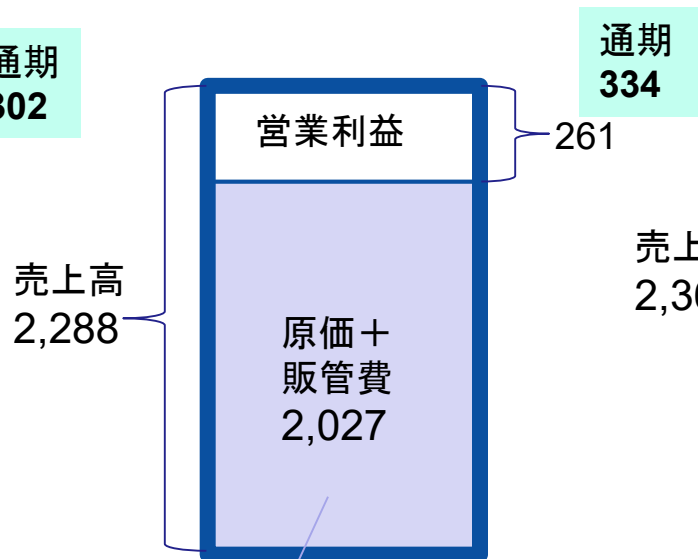
ケースA)
売上高増加率が
前年比+15%

下半期売上高 2,256



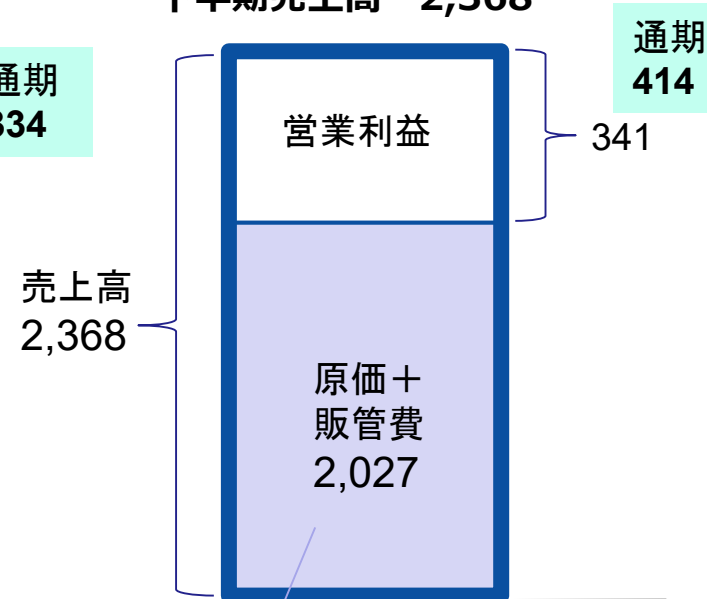
ケースB)
売上高増加率が
前年比+16.6% (上半期同等)

下半期売上高 2,288



ケースC)
売上高が
年間計画値通り

下半期売上高 2,368



下半期の原価および販管費は、概ね確定 (2,027)

単位：百万円
2020年6月期下半期のみ

利益剰余金の積み上げにより、健全な財務基盤を維持

単位：百万円

科目	2019年6月期 末	2020年6月期 2Q	前期末比	科目別増減ポイント
流動資産	1,507	1,306	86.7%	
うち現預金	706	539	76.4%	
固定資産	1,051	1,154	109.8%	ソフトウェア仮勘定増加+85
資産合計	2,558	2,460	96.2%	
流動負債	1,108	948	85.8%	未払金減少▲130
固定負債	631	644	101.7%	長期前受収益増+24
負債合計	1,739	1,593	91.6%	
純資産合計	818	867	106.0%	利益剰余金増+47

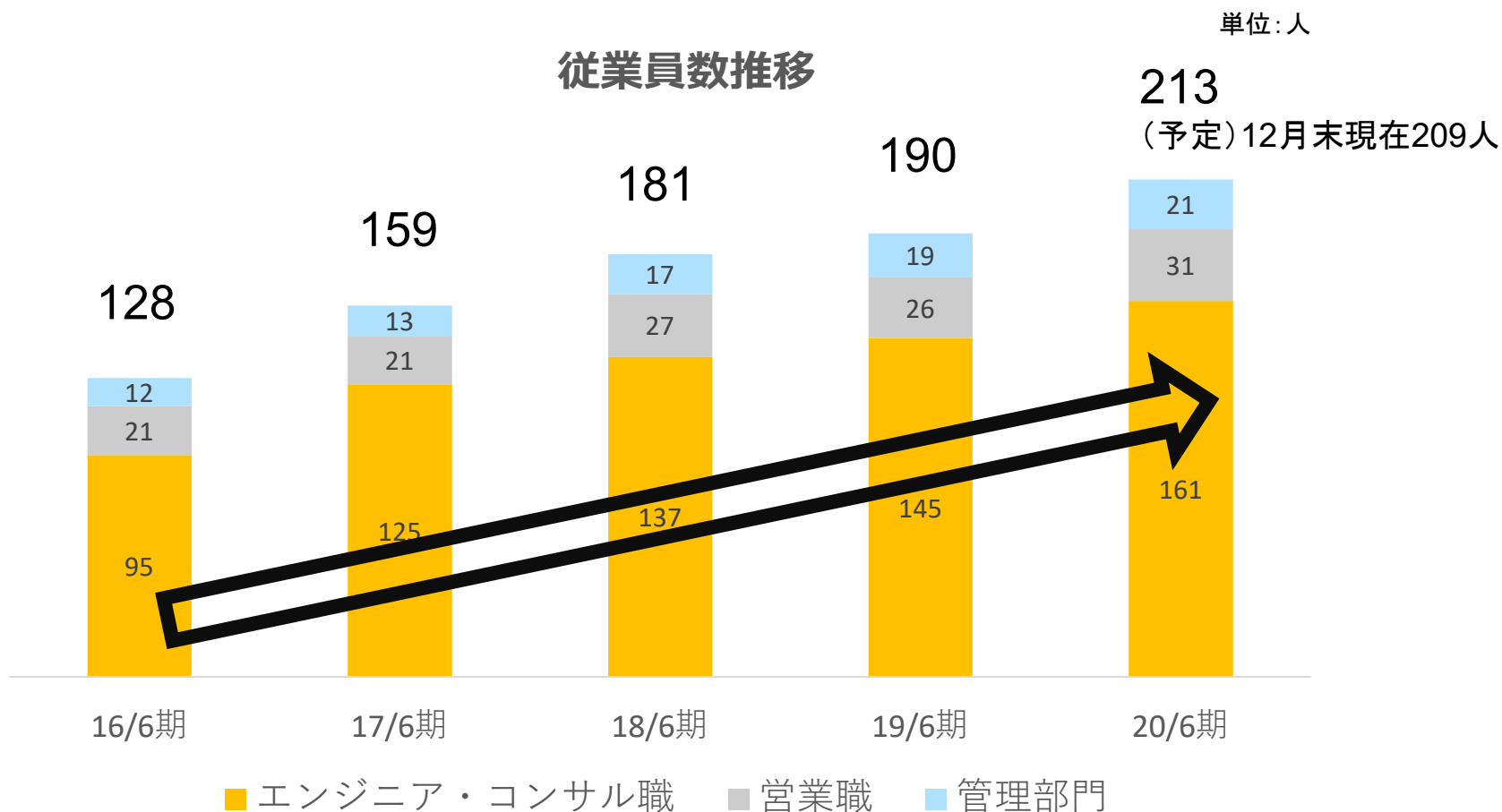
(自己資本比率) 32.0% 35.3% +3.3p

営業キャッシュフローは大幅改善 サービスへの積極投資に伴い、固定資産は増加

単位：百万円

科目	2019年6月期 2Q累計	2020年6月期 2Q累計	差異	ポイント
営業活動によるキャッシュ・フロー	-25	237	262	減価償却費+153および純利益+58
投資活動によるキャッシュ・フロー	-159	-289	-130	固定資産の取得▲269
財務活動によるキャッシュ・フロー	301	-115	-416	リース返済▲81
現金及び現金同等物の増減額	116	-167	-283	
現金及び現金同等物の期首残高	306	706	400	
現金及び現金同等物の四半期末残高	422	539	117	

技術者（エンジニア・コンサル職）を中心に順調に人材を確保 育成フェーズからの戦力化も急ピッチで進む



2020年6月期予想（2019.7.19発表内容から変更なし）

1. **脆弱性診断**を当面の成長エンジンと位置付け経営資源を重点配分
将来的には売上高20億円を目指す
2. **監査・コンサル**は海外展開を加速、国内はエンタプライズコンサルマーケットへのシフトを図る
3. **情報漏えいIT対策**は、魅力ある新サービスの開発を進めながら、既存サービスの稼働率を上げることにより、利益率の向上を図る

単位：百万円

科目	2019年6月期 通期実績	2020年6月期 通期予想	前年同期比	
			差異	増減率
売上高	3,670	4,358	687	+18.7%
セキュリティ監査・コンサル	726	759	32	+4.4%
脆弱性診断	1,096	1,400	303	+27.7%
情報漏えいIT対策	1,847	2,198	351	+19.0%
売上原価	2,823	3,163	340	+12.1%
販売費及び一般管理費	727	894	167	+23.0%
営業利益	120	300	179	+148.4%
売上高営業利益率	3.3%	6.9%	+3.6p	-
経常利益	73	278	205	+281.4%
売上高経常利益率	2.0%	6.4%	+4.4p	-
当期純利益	59	182	122	+204.5%

2020年6月期 第2四半期 業績サマリー

トピックスのご紹介



株式会社ブロードバンドセキュリティについて

トピックスのご紹介

2019年9月以降の主なニュースリリース

10月 Shift Leftコンサルティングサービスを開始

10月 地銀・信金・信組向けのセキュリティ対策サービスを強化

1月 タイにおける合併会社設立、営業開始

2月 無線LAN調査サービスを開始

「Shift Leftコンサルティングサービス」を開始（2019.10.2）

システム開発の上流工程におけるセキュリティ対策を支援する「Shift Leftコンサルティングサービス」で、根本的なセキュリティ強化によるアプリケーション開発改革を！



当社のご支援

上流工程におけるセキュリティ支援 (Shift Left コンサルティング)

1. セキュリティ要件、設計レビューによる問題点の可視化
 - システム要件に関する評価
 - 運用要件に関する評価
 - 対策案の策定
2. 開発標準 / ガイドライン策定

製造工程における 脆弱性診断計画の策定と実施

- ・ ソースコード静的解析
- ・ 脆弱性スキャン / 侵入試験
- ・ 修正に当たっての QA サポート

- ・ 脆弱性診断保守
- ・ SOC 監視
- ・ セキュリティ評価
- ・ セキュリティ運用
- ・ 脆弱性情報提供
- ・ セキュリティ教育
- ・ 緊急対応支援
- ・ リスクアセスメント

- ・ セキュリティアドバイザー
- ・ CSIRT 構築 / 運用支援
- ・ セキュリティ認証取得 / 準拠支援

地銀・信金・信組向けのセキュリティ対策サービスを強化（2019.10.18）

金融機関向け各種サービスを ワンストップでご提供

ご提供サービス一覧 →

セキュリティコンサルティングサービス（業務委託による実務含む）

- ・ FISC ガイドライン 第三者評価 (簡易評価)
- ・ PCI DSS 準拠支援コンサルティングおよび監査
- ・ QR コード決済事業者向けセキュリティリスク可視化と対策支援
- ・ 文書整備支援コンサルティング
- ・ システム環境の堅牢化コンサルティング
- ・ 開発における シフトレフト コンサルティング
- ・ 従業員、役員向けの教育
- ・ 内部規定に基づく定期監査
- ・ CSIRT 構築、運用コンサルティング
- ・ セキュリティアドバイザリによる総合的観点の助言

情報漏えい IT 対策サービス

- ・ インターネット分離（無害化より 更に進めた分離）
- ・ MSS（WAF/IPS/DDoS/EDR/CASB/出口対策等 24/365 体制での監視運用）
- ・ 標的型訓練を 更に発展させた インシデント訓練
- ・ デジタルフォレンジック（有事の際の情報回収および分析調査等）
- ・ ログ取得及びその分析業務
- ・ SIEM 構築、分析、運用支援
- ・ 脆弱性情報提供

脆弱性診断サービス

- ・ Web アプリケーション脆弱性診断
- ・ ペネトレーションテスト（PCI DSS 監査での 金融機関向けの豊富な知見を基にした一歩進んだ脆弱性診断）
- ・ パブリッククラウド向け脆弱性診断
- ・ AWS セキュリティ設定診断
- ・ データベース診断
- ・ スマホアプリ脆弱性診断
- ・ IoT デバイス脆弱性診断
- ・ Web サイト改ざん検知
- ・ DevSecOps に基づく ソースコード自動診断

タイにおける合併会社設立（2020.1.21）

アジアNo.1のクレジットカードセキュリティプロバイダを目指して、タイで情報セキュリティに関する各種トレーニング、コンサルティングを行っているWisdom Centerと、合併会社を設立、正式に営業を開始しました。既にSUPERNAP Thailand社およびTrue IDC社等の現地大手企業との契約を締結しており、その他の大手企業とも取引が進行しております。

合併会社の概要

(1) 名称	BroadBand Security Assessment(Thailand) Company Limited
(2) 所在地	No. 77/177 Sinn Sathorn Tower, Floor 39, Krung Thonburi Road, Khlong Ton Sai Sub-district, Khlong San District, Bangkok Mahanakorn 10600
(3) 代表者	Arsira Kawaree
(4) 事業内容	PCI DSS に係る諸事業 邦人企業向けテクニカルアセスメント、PDPA リスクアセスメント
(5) 資本金	400 万 THB（邦貨概算 1,400 万円 タイ国出資法に基づく運用）
(6) 設立年月日	2020 年 1 月 3 日
(7) 出資比率	当社 49%、Wisdom Center および第三者株主合計 51%

調印式の模様



無線LAN調査サービスを開始（2020.2.10）

企業等の業務を行うワーキング環境において、「盗聴」「なりすまし」「不正アクセスによる情報漏えい」などのセキュリティリスクを生み出す無線LANのリスクを検証する「無線LAN調査サービス」をより開始。

<サービスのポイント>

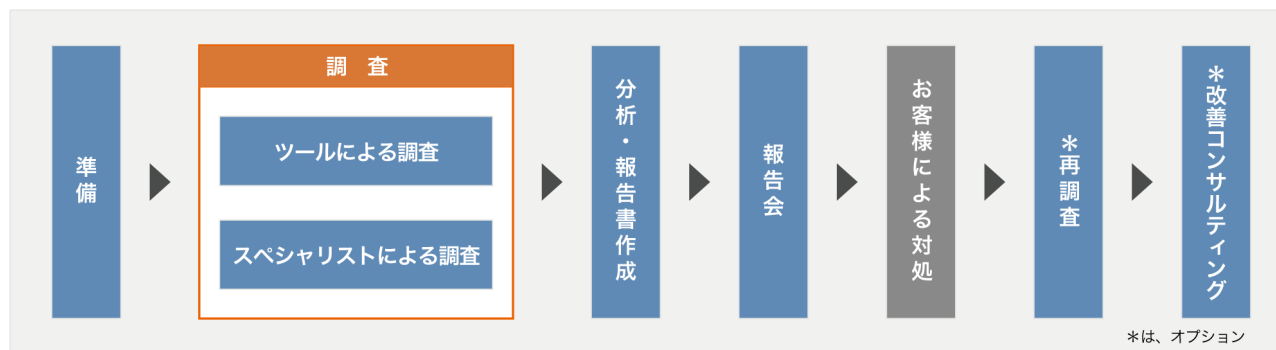
1.精度の高い無線LAN調査

セキュリティの専門家による調査により、不審な無線LANの可視化に加え、見落としがちな暗号化強度が弱い正規の無線LANも含め、全体像を把握することができます。

2.調査後の、次の一手につながるオプションサービスを提供

調査終了後に、改善策を実施した場合、それが効果を発揮しているかを再調査するオプションサービス、自社にノウハウがなく対応できない場合の改善プランを支援するコンサルティングサービス等を準備し、お客様の無線LAN環境の安全性確保を支援いたします。

<サービスの流れ>



2020年6月期 第2四半期 業績サマリー

トピックスのご紹介

株式会社ブロードバンドセキュリティについて



会社概要

会社名

株式会社ブロードバンドセキュリティ (略称：BBSec)
BroadBand Security, Inc.

本社所在地

東京都新宿区西新宿8-5-1
野村不動産西新宿共同ビル4F (〒160-0023)

URL

<https://www.bbsec.co.jp/>

設立

2000年11月30日

資本金

2億8,344万円

決算期

6月

株式公開情報

市場：東京証券取引所 JASDAQスタンダード市場
上場日：2018年9月26日
株式コード：4398

従業員数

209名

代表者

代表取締役社長 持塚 朗

事業内容

1. セキュリティ監査・コンサルティングサービス
2. 脆弱性診断サービス
3. 情報漏えいIT対策サービス

事業所

国内：天王洲オフィス、大阪支店、名古屋支店
海外：韓国支店
オペレーションセンター：1 拠点 (東京都内)

(2019年12月末現在)

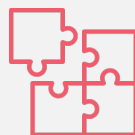
ブロードバンドセキュリティ（BBSec）とは

セキュリティ対策の可視化から運用までをトータルに支援する、セキュリティサービスプロバイダー



常にお客様に
寄り添い
現状の可視化から
日々の運用までの
ライフサイクルを
トータルに支援

セキュリティ対策の
現状調査・可視化
企画・検討



セキュリティ監査・
コンサルティングサービス

- セキュリティ・アドバイザー
- リスクアセスメント
- ウィルス感染チェック
- CSIRT 構築 / 運用支援
- セキュリティログ分析 / 活用支援
- PCI DSS準拠支援 / オンサイト評価
- 標的型攻撃メール訓練 他

脆弱性診断サービス

- WEB アプリケーション脆弱性診断
- ネットワーク脆弱性診断
- データベース診断
- スマホアプリ脆弱性診断
- パブリッククラウド向け脆弱性診断
- ソフトウェア品質自動分析診断
- WEB サイトコンテンツ改ざん検知 他

セキュリティ対策の
導入・運用



情報漏洩
IT対策サービス

- セキュアメール
- マネージドセキュリティ
- モダンマルウェア検知
- インターネット分離クラウド
- SIEM 運用 / 分析
- Splunk 自動遮断連携
- エンドポイントセキュリティ運用支援 他

※1 PCI DSS Payment Card Industry Data Security Standard ※2 CSIRT Computer Security Incident Response Team
※3 SIEM Security Information and Event Management

当社が多くのお客様から選ばれるのには、理由があります。

ニュートラル



最適な改善策を提示するために
欠かせないベンダーニュートラル性

技術対応力



経験、知識、情報網を核とした
最先端の技術対応力

信頼性



サービスご利用の高いリピート率が
示す高信頼性

ユーザーオリエンテッド



お客様個別のニーズやスピードに
お応えする柔軟な体制

本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。

これらは現在における見込、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、業界並びに市場の状況、金利、為替変動といった国内、国際的な経済状況の変動により異なる結果を招く不確実性を含みます。

当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

また、当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

株式会社ブロードバンドセキュリティ

Internet mail: ir@bbsec.co.jp WEB: <https://www.bbsec.co.jp/>
東京本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-5-1 野村不動産西新宿共同ビル4F
TEL : 03-5338-7430